

ごあいさつ

師走の風の冷たさが身に染みる昨今ですが、皆様にはご健勝のことと心からお慶び申し上げます。

りすシステムも 2000 年 11 月に NPO 認証を得て、今年で 7 期目の決算を迎えました。第 5 期までは各期の収支差額がマイナスを余儀なくされましたが、お陰様で第 6 期および第 7 期（平成 18 年 7 月 1 日から平成 19 年 6 月 30 日まで）は当期収支差額がプラスの決算をすることが出来、一応安心しております。

しかし、決算の内容にはまだ課題があると思っています。

NPO の運営は、寄附と利用者の負担、そして事業による収入の 3 本柱のバランスが整っていることが望ましいと考えていますが、残念ながらバランスがとれておりません。

そのための方策の一助として本年 7 月（第 8 期）から、皆さんからお預かりしている契約と、それに係る個人情報の適正な管理等を長期的に安定して確実にを行うため、さらにより高くキメの細かい支援業務を継続していくための組織運営に資することを目的として、維持費の納付をお願いしました。

この部分については、まだ第 7 期の決算に反映しておりませんが、第 8 期以降はその結果を皆様にお知らせできると考えています。

会計の数字の表現にはいろいろな表し方があります。例えば、内閣府の求める表し方、税務申告あるいは会計学的な会計の表し方などです。

いずれも「活動の実体と財政の実体」が理解でき易いものではありませんので、決算の表現方法について長年に亘り試行錯誤して参りました。

第 7 期は、皆様に良くご理解いただけるような報告書を作成することができましたので、送付させていただきます。

なお、詳細は生前契約ホームページ（<http://www.seizenkeiyaku.org/>）に掲載しておりますので、ご覧いただければと存じます。

来る新しい年が、皆様にとって幸多き年でありますことを、ご祈念申し上げます。

2007 年 12 月

特定非営利活動法人りすシステム

代表理事 松島如戒

第7期 報告書

(平成18年7月1日から平成19年6月30日まで)

特定非営利活動法人りすシステム

第7期事業報告書

特定非営利活動法人りすシステムは、生前契約に関する啓蒙活動事業、死後事務契約の受託事業、生前事務契約の受託事業および利用者支援事業を中心として活動しておりますが、定款に記載した事業別（12に区分できます）に当期の活動状況を説明すると以下の通りです。

1. 生前契約に関する啓蒙普及事業

イ) 定期説明会の実施

各支部で毎月1回実施し、説明会参加者数は731人でした。

ロ) 講演実施およびテレビ・ラジオ・新聞・雑誌での紹介

講演：東京：平成18年7月、19年3月・4月

京都：平成18年8月

大阪・広島：平成18年9月

名古屋：平成19年6月

テレビ：NHK4回放映

ラジオ：1回放送

新聞：シルバー新聞：4回連載、愛媛新聞：2回連載

雑誌：「宗教者に聞く！前・後編」、「百楽」、「葬儀の後の手続き辞典」、「テーマス」

2. 死後事務契約（祭祀主宰を含む）の受託事業

イ) 死後事務契約受託

各支部で通年実施し、死後事務契約者数は293人でした。

ロ) 死後事務の履行

各支部で通年実施し、死後事務を履行した件数は27件でした。

3. 生前事務契約（療養看護、身上監護、財産管理等生活支援）の受託事業

イ) 生前事務契約受託

各支部で通年実施し、生前事務契約者数は223人でした。

ロ) 生前事務の履行

各支部で通年実施し、生前事務を履行した件数は704件でした。

4. 任意後見契約の受託並びに成年後見人等の受託事業

イ) 任意後見契約受託

各支部で通年実施し、任意後見契約者数は219人でした。

ロ) 後見事務の履行

東日本・中部日本・西日本・九州支部で通年実施し、後見事務を履行した件数は46件でした。

5．生前契約に係る遺言に関する事業

イ) 遺言作成のサポート事務受託

各支部で通年実施し、遺言公正証書作成者数は 260 人でした。

ロ) 遺言執行事務の履行

東日本・西日本支部で通年実施し、遺言執行事務を履行した件数は 6 件でした。

6．目的達成に必要な人材育成および出版に関する事業

イ) リすシステムスタッフ等の研修

元最高裁判事による「民法の基礎および実務研修」を本部会議室で 4 回実施し、延べ 113 人参加しました。

ロ) 書籍販売

各支部で通年実施しました。

7．葬送環境科学研究所の設立に関する事業

イ) 「死の科学と環境」シンポジウム開催

京都女子大学教授および火葬残滓処理専門業者の協力を得て、平成 19 年 1 月に大阪市で開催し、参加者は約 50 人でした。

ロ) 葬送環境科学研究所の設立

警察庁科学警察研究所元副所長を招聘し、平成 19 年 1 月から死体の科学的取扱いの理論および感染症予防の基礎研究等を実施しています。

8．地球にやさしい葬法（エコ・メモリアル・システム）の調査研究、開発および啓蒙普及事業

イ) 「エコ・人権葬」展の開催

段ボール製棺の展示、棺を使った手作り葬の体験等を平成 18 年 10 月に東京九段ホールで開催し、参加者は約 30 人でした。

ロ) ニュージランド撒骨

撒骨を平成 18 年 10 月にニュージランドで実施し、参加者は 7 人でした。

9．葬送 110 番の設置等葬送に関する相談および支援事業

葬送に関する電話相談事業を本部で通年実施し、相談件数は 316 件でした。

10．生活支援テレホンの設置等生活支援に関する相談事業

日常生活で気になること等、暮らしの相談に関する電話相談事業を本部で毎週火曜日と木曜日に実施し、相談件数は 185 件でした。

11. 生前契約利用者に対する支援事業

イ) 会報誌「りす倶楽部」発行

生前契約利用者を対象に本部で毎月 1 回発行し、発行部数は年間 25,900 部です。

ロ) りす倶楽部の懇親会等

生前契約利用者を対象に各支部で実施し、参加回数は 41 回で参加者数は 484 人でした。

ハ) 支部での各種支援事業

生前契約締結者の来所相談および電話相談を各支部で通年実施し、不特定多数の人が利用しています。

ニ) 医療に関する相談事業

生前契約締結者を対象に保健師 O B のご協力を得て東日本および西日本支部で平成 19 年 1 月から不定期に実施し、不特定多数の人が利用しています。

ホ) その他の支援活動事業

生前契約締結者を対象に各支部で通年実施し、不特定多数の人が利用しています。

12. りすシステムと同じ目的を持つ特定非営利活動法人の設立、運営、支援に関する事業

当期は実施していません。

第7期収支計算書

上記の第7期事業報告書で記載した事業活動を実施しました結果、経常収支差額は7,300千円となりました。経常的な事業活動からの経常収入は175,222千円(会費・入会金収入27,950千円、事業収入50,429千円、寄付金収入89,825千円および雑収入7,016千円)であり経常支出は167,921千円(事業費145,415千円および管理費22,505千円)であった結果です。

なお、この経常収支差額にその他資金収支差額4,682千円を加えた当期収支差額は11,982千円となり、前期繰越収支差額41,647千円を改善して次期繰越収支差額は29,665千円となりました。

第7期収支計算書(要旨)

自 平成18年7月1日 至 平成19年6月30日

(単位：千円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
経常収入の部		
1 会費・入会金収入	27,950	
2 事業収入	50,429	
3 寄付金収入	89,825	
4 雑収入	7,016	
経常収入合計		175,222
経常支出の部		
1 事業費	145,415	
2 管理費	22,505	
経常支出合計		167,921
経常収支差額		7,300
その他資金収入の部		19,124
その他資金支出の部		14,442
当期収支差額		11,982
前期繰越収支差額		41,647
次期繰越収支差額		29,665

この第7期収支計算書(要旨)の経常収入と経常支出を第7期事業報告書で記載した定款の事業別に記載しますと以下の通りです。

受託事業(定款事業の2.死後事務受託、3.生前事務受託、4.任意後見契約受託および5.遺言執行受託)は収入と支出がほぼ見合っております。しかし、それ以外の生前契約事業の啓蒙普及活動、りすシステムの活動目的のための人材教育および利用者支援活動等から発生する支出並びに管理費を合計した経常支出を会費・入会金収入及び寄付金収入等でまかなっています。

第7期定款事業別経常収入、経常支出および経常収支差額の状況

(単位：千円)

定款事業	経常収入		経常支出		経常収支差額 金額
	勘定科目	金額	勘定科目	金額	
1.生前契約啓蒙普及			事業費	46,040	
2.死後事務受託	事業収入	20,970	事業費	18,938	
3.生前事務受託	事業収入	18,171	事業費	18,006	
4.後見受託	事業収入	1,841	事業費	2,710	
5.遺言執行受託	事業収入	8,182	事業費	5,146	
6.生涯教育・出版	事業収入	235	事業費	11,599	
7.葬送環境研究			事業費	9,889	
8.葬法調査研究等			事業費	3,438	
9.葬送110番相談			事業費	1,372	
10.生活支援相談			事業費	3,427	
11.利用者支援	事業収入	1,028	事業費	24,846	
12.他のNPO法人支援					
	事業収入 計	50,429	事業費 計	145,415	
			管理費	22,505	
			合計	167,921	
	会費・入会金収入	27,950			
	寄付金等収入	96,842			
	経常収入合計	175,222	経常支出合計	167,921	7,300

第7期貸借対照表

上記の第7期事業報告書で記載した事業を実施しました結果、第7期末の正味財産は第6期末に較べて2,994千円増加しました。なお、資産合計は72,704千円、負債合計は126,665千円、正味財産合計は53,961千円という状況です。

第7期貸借対照表（要旨）

平成19年6月30日現在

（単位：千円）

科 目	金 額		
資産の部			
1 流動資産			
現金預金	17,555		
商品（納骨堂利用権）	17,900		
その他	15,584		
流動資産合計		51,039	
2 固定資産			
施設利用権	10,000		
その他	11,664		
固定資産合計		21,664	
資産合計			72,704
負債の部			
1 流動負債			
未払費用	12,721		
活動負担金	45,400		
その他	12,402		
流動負債合計		70,523	
2 固定負債			
長期借入金	47,350		
その他	8,792		
固定負債合計		56,142	
負債合計			126,665
正味財産の部			
前期繰越正味財産		56,956	
当期正味財産増加額		2,994	
正味財産合計			53,961
負債及び正味財産合計			72,704